山口茜さん（再春館製薬所　所属）

第66回全日本実業団バドミントン福井大会
応援レポート

2016年7月2日（土）・3日（日）
福井県勝山市体育館　ジオアリーナ

H30年福井国体が行われる体育館に、山口さんの戦績がズラリと並ぶ展示コーナー

オリンピック代表までに成長した姿を、プレーで地元に魅せるチャンス

2016年の全日本実業団選手権大会が行われたのは、5月末にできたばかりの福井県勝山市体育館ジオアリーナ。なんとその場所は、山口さんが3月に卒業した勝山高校のすぐ目の前だった。

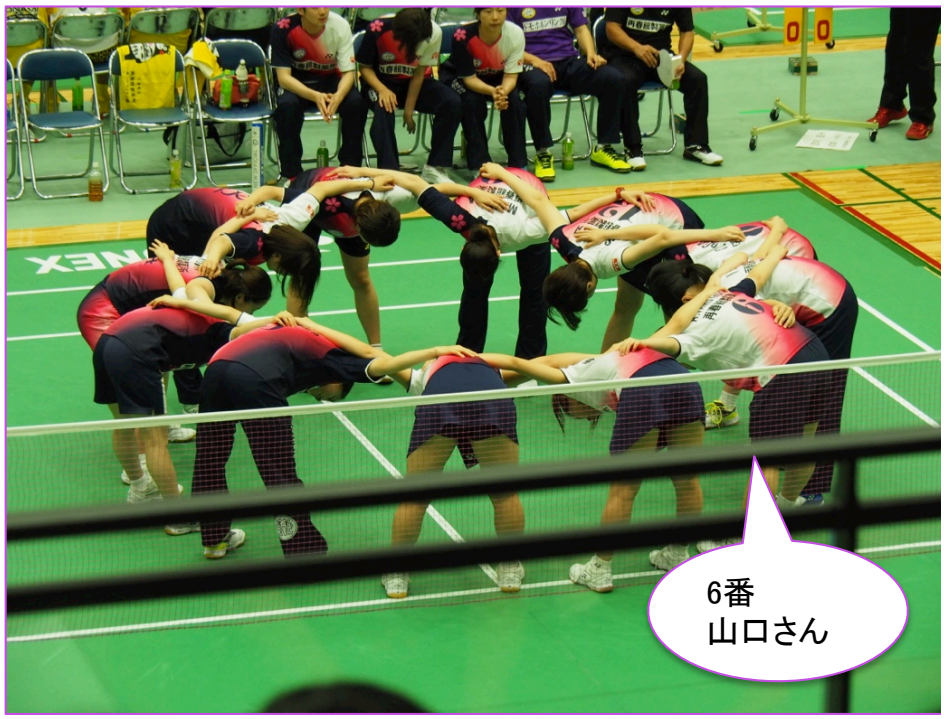
海外を転戦する茜さんの試合を生で観戦する機会は、実は地元ファンにはそうそうない。しかも実業団に入り、リオ・オリンピック代表にも選ばれたこのタイミングは見逃せないチャンス。地元ファンと一緒に応援するために勝山市に向かった。

再春館製薬所の本拠地は熊本県益城町。支援への感謝を記した旗の隣には山口さんの地元応援旗も。下はアップする山口さん

■7月2日（土）準々決勝　vs　岐阜トリッキーパンダース
山口さん登場前に、再春館製薬所が3連勝して勝利

再春館製薬所は、前日にPLENTYGLOBALLINX（大阪）を3-0のストレートで破り、準々決勝へ進んでいた。山口さんも1勝をチームに貢献している。

2日の山口さんの登場は4試合目の予定だったが、先にダブルス2組とシングルス1組とも再春館製薬所が白星を獲得したため、山口さんのプレーは午後の準決勝のお楽しみとなった。



円陣を組んで気合いを入れる再春館製薬所チーム。
山口さんの応援で会場を訪れた人たちも、そのまま
再春館製薬所チームの応援団に！

●バドミントンのルール●

試合は3ゲームマッチで行われ、先に2ゲームを先取したほうが勝ち。ファーストゲーム（第1ゲーム）、セカンドゲーム（第2ゲーム）と進め、もし1対1になった場合は、ファイナルゲーム（第3ゲーム）が行われる。1ゲームは21点で、先に21点取ったほうが勝ち。ただし、20対20になった場合は、延長ゲームとなり、2点差がついた時点で終了。

●実業団大会●

団体戦はダブルス2試合＋シングルス3試合の合計5試合で行われる。どちらかが3勝した時点で勝敗が決定する。

試合の合間に、先輩に応援の仕方（←おそらく）
を教えてもらっている山口さん

■7月2日（土）準決勝　vs　ヨネックス

山口さんは熱戦を制し、チームは決勝戦へ進出

準決勝が始まった。ダブルスで1勝1敗となったあと、朝の試合から7時間待った山口さんがいよいよコートに登場だ。相手は佐藤冴香選手。山口さんが世界ランキング12位なのに対し14位の佐藤さん、ロンドン五輪代表だっただけになかなか点を取らせてくれず、1ゲームめを許してしまった。しかしだんだん乗ってきた山口さん、安定して点を重ねて2ゲームめを獲得。3ゲームめは1点づつ点を取り合うハラハラドキドキの展開となり会場を盛り上げた上で、山口さんが勝利を決めてくれた。熱戦をありがとう、と会場は興奮のまま喜びに湧いた！

のびやかなプレーを魅せる山口さん。佐藤選手には昨年末の全日本選手権で敗退していたのだが、山口さんは確実に強くなっているのだ！

試合中は声援が起こっても集中した表情しかうかがえないが、勝利を決めたあとは笑顔になってチームの元へ。

■7月3日（日）決勝　vs　日本ユニシス

個人では奥原選手に敗退。団体で再春館製薬所　初優勝！

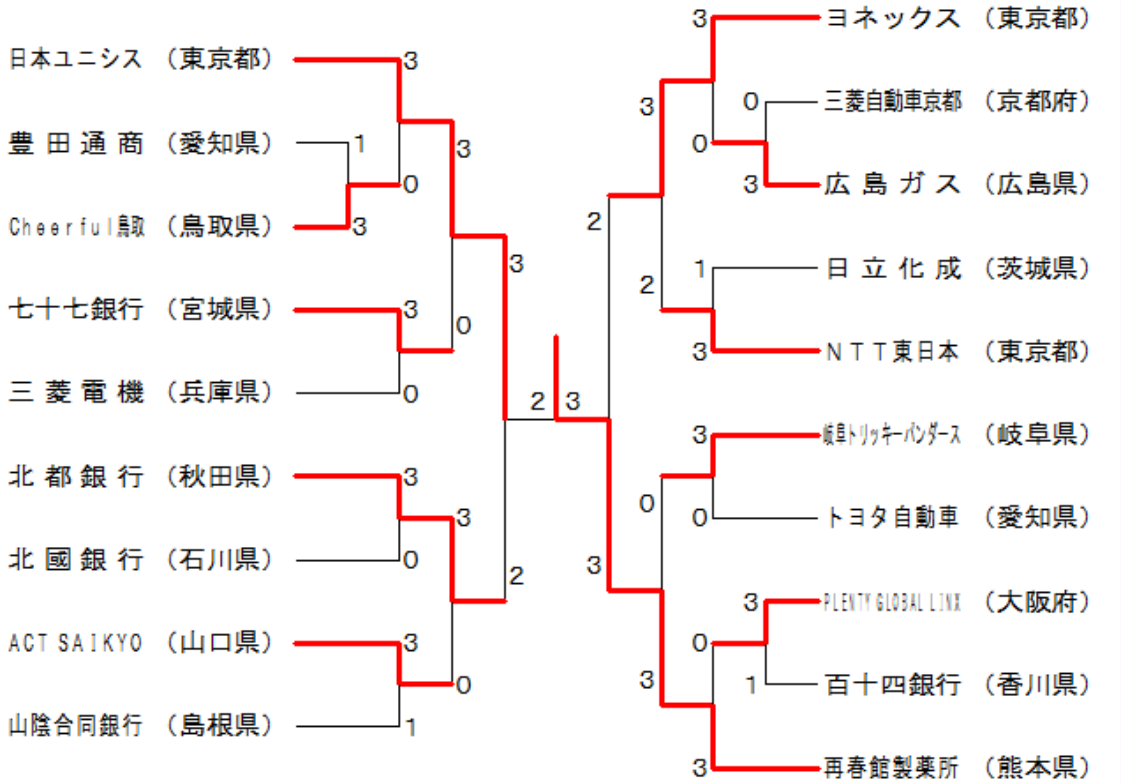
翌日の決勝戦の対戦相手は、女子日本チャンピオンの奥原希望選手。オリンピック代表同士の対決が見られるなんて、まるでファンサービスのよう。この機会に勝利する山口さんの姿が見たい！と気持ちは勝手に先走ってしまったが、奥原選手はアウェイな会場でも非常に冷静だった。確実に試合を進めて1ゲームめを先取。が、成長期真っ最中の山口さん！リズムを取り戻して、2ゲームめは点を取られたら取り返し、奥原選手を追いつめる粘りのプレーを魅せてくれた。最後は奥原さんの勝利となったが、山口さんの確かな進化を見届けられた好ゲームだった！

この時点で再春館製薬所は1勝2敗、続いて2勝をもぎ取って実業団大会で初優勝を成し遂げた。おめでとうございます！

左はアップする山口さん。試合を楽しみにしている様子が感じ取れた。会場の体育館は、立ち見もぎっしり。試合終了後は、トッププレーヤーの熱戦に拍手が沸き起こった。勝山のファンはおおらかで温かい！

結果

女子 決勝トーナメント



初戦

熊本県 再春館製薬所（熊本県） 3 － 0 大阪府 PLENTY GLOBAL LINK（大阪府）　試合番号 １１

福島 由紀 志田 千陽	2	21-16 21-13	0 新藤 綾 早川 紗保里
廣田 彩花 小野 菜保	2	21-15 21-18	0 鈴木 智子 春木 真奈
山口 茜	2	21- 5 21-11	0 松島 美紀
伊東 可奈			早川 紗保里
峰 歩美			春木 真奈

準々決勝

熊本県 再春館製薬所（熊本県） 3 － 0 岐阜県 岐阜トリッキーパンダース（岐阜県）　試合番号 １５

福万 尚子 與猶 くるみ	2	15-21 21-15 21-14	1 江藤 理恵 松田 蒼
福島 由紀 廣田 彩花	2	21-11 21-10	0 山口 ソヨカ 川添 麻依子
峰 歩美	2	21-14 21-19	0 山本 紗椰
山口 茜			橋詰 有紗
伊東 可奈			松田 蒼

準決勝

熊本県 再春館製薬所（熊本県） 3 － 2 東京都 ヨネックス（東京都）　試合番号 １７

福島 由紀 廣田 彩花	1	10-21 21-17 19-21	2 内藤 真実 土井 杏奈
福万 尚子 與猶 くるみ	2	21-17 21-17	0 櫻本 絢子 高畑 祐紀子
山口 茜	2	12-21 21-12 21-19	1 佐藤 冴香
峰 歩美	1	21-13 16-21 14-21	2 今別府 香里
伊東 可奈	2	21-11 25-23	0 鈴木 温子

決勝

熊本県 再春館製薬所（熊本県） 3 － 2 東京都 日本ユニシス（東京都）　試合番号 １８

福島 由紀 廣田 彩花	1	17-21 21-19 22-24	2 髙橋 礼華 松友 美佐紀
福万 尚子 與猶 くるみ	2	21-18 21-16	0 栗原 文音 東野 有紗
山口 茜	0	14-21 18-21	2 奥原 希望
峰 歩美	2	21-15 21-19	0 星 千智
伊東 可奈	2	21-19 21-19	0 髙橋 沙也加

決勝相手の日本ユニシスは、オリンピック代表の奥原希望さん（写真左）、高橋礼華さん＆松友美佐紀さんペア（世界ランキング1位）が所属する強豪チーム。4連覇を阻止した再春館製薬所チームはすごい！